

「饗応管理」参考資料

「倫理法」が施行されて数年を迎える昨今、未だにその対応に迷う実態があることは承知しているが、要は公務員としての自覚、世間の常識及び当節の状況に負うところ大である。そこで、現代随一の陽明学者の識見から、普段の生活、勤務に参考になることを抜粋してみよう。

【日用心法】『道は近きにある』安岡正篤（やすおかまさひろ）（昭和54年）

- 一 毎日の飲食は適正か？
 - × 過度・不合理
 - × 暴飲暴食（妄食）

- 二 毎晩よく眠れるか？
 - 安眠・熟睡・黎明即起
 - × 惰眠

- 三 心身に影響を与えている悪習慣はないか？
 - × 朝寝・昼寝・夕寝
 - × 深更晩酌・徹夜麻雀

- 四 毎日適度な運動をしているか？
 - スポーツ・ジョギング・散歩
 - 柔軟体操・静座調息

- 五 日常生活上の出来事に軽々しく感情を乱されることがありはせぬか？
 - × 一喜一憂
 - × 環境に支配され主体性なし

- 六 精神的動揺があっても仕事は平常のごとく続け得るか？
 - バックボーンによる意思の統御

- 七 毎日の仕事に自分を打ち込んでいるか？
 - 止観

- 八 仕事にどれだけ有能かを実験しているか？
 - 興味があることを能力があることと錯覚するなかれ

九 現在の仕事は生涯仕事とするに足りうるか？

○ いかなる小事も深く入っていけば大和の理によって無限に世界が開ける

十 生活に退屈はないか？

× 漫然テレビ・小説耽読（たんどく）

「四耐」；冷ややかなることに耐え、苦しいことに耐え、煩わしいことに耐え、閑にも耐える。

十一 毎日追求すべき問題を持ち続けているか？

○ 今日も明日もやるべきことあり

○ 思案・実行・反省

十二 人に対して親切かつ誠実であるか？

× ちゃらんぽらん

△ 利口な才子

十三 人格の向上に資するような教養に努めているか？

△ 読書・趣味

「志有る人物は、“宜しく冷に耐え、苦に耐え、煩に耐え、閑に耐え、激せず、騒がず、競わず、随わず”」

十四 何らかのエキスパートになる努力をしているか？

○ 知識・技術の練磨

○ 芸は身を助くの一芸一能

十五 何か信仰・信念・哲学をもっているか？

○ 一切を剥奪されても奪うべからざるもの

○ 人間としての永遠不滅の根本

付言； このような十五の項目を立てて、そこに類する「思いつくこと」「格言」などを自分なりに収集、分類し、自己努力の目標や戒めるべきこととして掲げ、日々の生活や勤務に活かして欲しい。

完